

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和元年7月16日(火) 午後7時～8時30分
場 所 鶴ヶ岡分館(七彩の街町会)
参加者数 11人



主な意見等

参加者 大井中央公民館の建て替えについて質問です。現在、約85団体、1200～1300人が毎月公民館を利用していますが、建て替えの間、活動ができなくなってしまうのではないかと懸念があります。その辺りはどう検討されていますか。

市長 建て替え中の代替施設は、工事を行っていない残りの2公民館以外の場所も使う考えです。本来福祉目的のみの利用である大井中央公民館裏の大井総合福祉センターホールや大井総合支所2階のゆめぼると、学校の空き教室などさまざまな場所を想定しています。建て替え中はご不便をおかけしてしまいますが、工事は令和3年4月頃からを予定していますので、なるべく皆様にご不便の無いよう代替の部屋について検討して参ります。

利用者の皆さんにとっては、建て替え中期間の活動が一番心配だと思います。今、利用者団体の代表者やPTA連合会、自治組織連合会などさまざまな場で文化施設整備についての説明会をやらせていただいています。今後も、さまざまな団体の方に伝えていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

参加者 市外在住の知人から「上福岡駅西口の公衆トイレを使ったところ、悪臭が酷く気持ちの悪いトイレで、まちの顔にあるトイレとしてどうなんだろう」と言われました。今は各都市でもトイレを整備する風潮があるので、気を付けていただければと思います。

市長 ご指摘のとおり、トイレはまちの顔部分だと思います。今、公衆トイレもきれいな環境になってきていますので、そういう印象を与えてしまったのであれば見直さなければいけないと思います。さっそく調べて進めたいと思います。

参加者 このまちに来て15年になります。引っ越してきた当時、このまちを知っている人から、「大井町ですか。すごく緑の多いまちですよね」と言っていただきました。今後も、街路樹の維持ですとかそういうことを含め、将来にまちの緑を残すことについてのご配慮をお願いします。

市長 緑についてはまさにそのとおりで、何としても残していかないといけないと思います。全てを否定するわけではありませんが、市内でも緑地として定めていた土地が売却され、ソーラーパネルに変わったということが起きています。

弁天の森については、旧大井町としても残していくという考えの下、民地なので相続時期に購入を進めてきましたが、財政状況の変化などもあり私の就任後、特別緑地保全地区として指定させていただき維持管理などの財政負担を少しでも落としながら計画的に購入を進めています。また、開発エリアの中にも緑地面積の指定があります。北海道の知床財団では、200年後を見据えて植林をしていると聞きました。これから先の人たちのためにも取り組みを進めていかなければいけないと思います。大変重要な部分だと思いますので、ありがたいお言葉だと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

参加者 ふじみ野市は待機児童がゼロかあるいはゼロに近いと思っていましたが、知人が2歳児で保育園に入れると思い申し込んだら入れなかったため職場近くの保育園に通っていると聞いています。

待機児童数ゼロというのは、年少・年中・年長の話で、2歳未満児については、ゼロになっていないということですか。

市長　　今も待機児童数はゼロではありません。現在の待機児童は、2～3名ですが、厚生労働省の定めた基準上の人数であって、実際に保育園に入れたくても入れない潜在的な待機者は他にもいます。

保育園は、入園基準や職場までの通勤時間、勤務時間、家庭状況など、データを点数化した上で厳正な審査を行い、入園を認めています。基準を満たしていないご家庭や、限定した園しか希望を示していただけられない方もいます。潜在的には、なかなか入れない方がいるのも事実です。それを何とか救済するということが小規模保育施設や認可外の保育園なども利用していただいている状況です。

参加者　　市の面積は14～15㎢と狭いですが、そこに大井中央公民館、上福岡公民館、勤労福祉センターなどの公的施設が、非常に沢山あると感じます。合併により集約されてきていると思いますが、大きな施設は新設や大規模修繕の費用のほか、その後の維持管理コスト等が相当かかります。実際のところ、集約化などの観点や現実の利用状況はどうなっていますか。これから中長期的にはどのように進めるのでしょうか。

市長　　公民館については、ご指摘のとおり本市に500席規模のホールは2つありません。大井中央公民館は現状約600席ですが、同規模の1階席と200席程度の2階席を作り約800席のホールに。勤労福祉センターは現在の約600席から約半分の300席程度のコンパクトで使い勝手の良いホールにしようと計画しています。

本来は大きなものを1つ作り大が小を兼ねるようにしたかったのですが、難しい状況です。ご指摘のとおり、ふじみ野市は14.64㎢と非常にコンパクトで、埼玉県で4番目に面積の狭い自治体です。それでも、東上線、川越街道、関越自動車道があり、土地にも起伏がありますので、こんな小さなまちですが、各公民館を遠くに感じる人もいます。実現不可能ですが極端な話をすれば、将来的なコストを考えると、ホールを作るために何十億という費用をかけるのであれば、近隣市の文化ホールまでの移動手段を補助することも方法としてはあると思います。しかし、成人式などのイベントはどの市でも同日に開催されますし、現在の施設は機材が老朽化し、舞台装置などの入れ替えが必要で、そのような中で思い切って建て替えをさせていただくものです。

さまざまなものの間引や統合を進めていかないと合併の本来の

意味がなくなってしまうと思います。役所は一つになり、合併当時 830 人程度いた正規職員が現在は約 630 人です。職員の人件費だけで 13 年前と比較すると 1 年間で 15 億円削減されました。窓口業務を委託するなど少しでもコスト削減に努めておりますが、スポーツ施設と文化施設は何とか維持していきたいと考えているため、新築またはリニューアルすることで係る経費を少しでも落としたいと考えております。また、将来の話になりますが、最初はずかでも施設を利用することで電気代、トイレを使えば水道代もかかりますし当然掃除なども必要となりますので受益者負担を少しずつから始め、皆さんで進めていきたいと考えています。この部分をしっかり考えないと将来人口減少となり行き詰ってしまう可能性があります。本当に貴重なご意見をありがとうございます。

参加者 七彩の街のタウンハウスに住んでいます。七彩公園に桜の木があり、家から良い桜の木が見えたのですが、年を取り桜の木が病気になる切られてしまい寂しい状況になってしまっています。今でも花の時期にはシートを敷いて花見をしている人も見受けられることから大事にしていきたいと思いますので現地を見ていただきたいと思います。

町会長 七彩公園の桜は、昭和 40 年頃に旭化成の社宅などを造った時に植えられたものだと思います。古い木なので風で倒れることもあり、その場合は切ることもあります。また、七彩公園は愛護会で管理しています。

市長 見事な桜だと記憶しておりますので、これからのためには、苗から植林する手段もあります。子供たちが見ても誇りに思えるようなものでありたいと思います。すぐに手はつかないかもしれませんが優先順位を付けながら進めたいと思います。

参加者 小学生と中学生の子どもがいます。本日（7月16日）早朝に蕨市で男が男性を刃物の様な物で刺して逃走した事件をご存知でしょうか。私は午前中にラジオで、事件があり犯人が逃走していると聞きました。その後、午後になってふじみ野市から警戒を促すメールが届きましたので、迅速性がないと感じました。私も情報提供を行う仕事をしていますので、もう少し迅速性が必要だと思います。

朝の通学時に情報が無いのは危機管理面でも不安があります。

市長 私ら蕨の事件を知ったのは、テレビのニュース速報でした。この種のもので報道されないものは沢山あります。市からのメール配信や防災行政無線の情報でパニックになってしまう親御さんもいらっしゃいますので、発信は慎重に行っています。

数日前にも、近隣市の児童がカッターナイフで切られたと情報が入りました。その後、警察が調べたところ、本当は児童自身がやったことを親に叱られるからとついた狂言だったとわかりました。その件でも、教育委員会では夜間まで翌朝の登校は親御さんに付き添ってもらうかなど協議をしていましたが、最終的に事件性は無さそうだと言うことを聞き情報の発信を止めました。

あまりに危険なこと、例えば、先日霞ヶ丘団地内で、女性が後ろからナイフで刺されたことがありました。その時はすぐさま警察と連携し防災行政無線を一斉に流しました。その数分後に女が「とんでもないことをしてしまった」と出頭しました。できるだけ速やかに情報を流せるものは流したいと考えておりますが、防災行政無線にしてもメール配信にしても、安易に不安だけをあおることはないように慎重さを持ちつつ緊急のものについてはいち早く対応できるようにしたいと思っております。

また、当日の学校現場におきましては、休日で部活動を行っていた学校もありましたが、教職員が引率して下校する、保護者への迎えを要請する、午後の活動を中止にするなどの対応をとっております。

参加者 通勤に東上線を使っていますが人身事故が多いです。予算も厳しいとは思いますが、ホームドアの設置は必要だと思います。電車の便が良いのでふじみ野市は人口が増えているのだと思いますが、どのように考えていますか。

市長 東上線の人身事故は全くそうです。インターネット上でも、事故が多いと言われております。市では、川越市など沿線の近隣市長と東上線改善対策協議会を作り、東武鉄道に対する要望活動を年1回行っています。その中でもホームドアの設置について毎年お願いをし、東武鉄道も順次進めていますと話していますが、なかなか進みません。今後も精一杯要望は続けていきます。

参加者 現状の大井図書館は、閲覧席が10席ほどしかありません。調べたいと思ってもスペースが無いので富士見市の図書館に行くことがあります。さまざまな図書館を参考にして、建て替え後は、席を気にせず訪問できる、利用しやすい図書館にしてください。

市長 大井中央公民館などの複合施設の件については、既に近隣の民間の方のご理解を得て、一部の敷地を拡張できる状態になっています。敷地面積を広げることで、図書館を複合化しても規模を損なわず、新施設は社会教育法に基づく公民館という名称では無く公民館的な機能を持たせたコミュニティ施設・文化施設とします。これについては、社会教育法に基づく館でなくても全く同じ活動ができることを文部科学省に確認しています。また、複合施設に図書館のエリアも作り、閲覧スペースも確保いたしますが、施設内に図書館の本を持って入れるラウンジのような場所を作れたらと思っています。

これから施設全体について専門家の意見を伺いながらデザインの設計を進める予定です。皆さんに喜んでいただけるよう、図書館としての機能の充実を進めます。

また、来年からは大井図書館も指定管理者制度を導入します。上福図書館は既に指定管理者により休館日や開館時間を延長するなどしていますので、既存の施設的には限界がありますが、建て替え前も機能を充実できればと考えています。